

# Mister AUTO 蓄圧式噴霧器

家庭用 園芸薬剤専用  
HS-Eシリーズ取扱説明書

## 安全上のご注意

ここに示した注意事項は製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は次のように区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守って下さい。

- ⚠ **危険**：人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される項目
- ⚠ **警告**：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される項目
- ⚠ **注意**：人が損害を負う可能性や物的損害の発生が想定される項目

## ご使用になる前にタンク交換時期お知らせラベルの上紙を必ずはがしてください。

### 《上紙のはがし方》

白い上紙だけをはがすと濃色ラベルが見えます。

はがす

※本体裏側に貼付しています

### 《ラベルの見方》

1側の濃色ラベルの色が、2側の水色と同じ色になったらタンクの交換時期です。

1と2の色の差が大きい

1と2が同じ色になったらタンク交換時期です

紫外線劣化するとだんだんと1の色があせて薄い色になっていきます

### 危険

タンクの交換目安は**ご使用開始後4年です**。4年未満であっても、次の場合はただちに使用を中止するか新品のタンクに交換してください。タンクが破裂する恐れがあります。

①タンク交換時期お知らせラベルが1と2同じ色になった時  
②紫外線劣化によりタンクにクモの染状の細かい亀裂が生じた場合

### 警告

改造は絶対にしないで下さい。故障や異常動作をし、ケガの原因となります。

噴霧器指定の薬剤以外や、強酸性・強アルカリ性の液体、可燃性の液体(ガソリン・灯油等)溶剤等は絶対に使用しないで下さい。タンクが破裂や爆発する恐れがあります。

## 薬剤使用上のご注意

### 注意

散布後はすみやかに圧力を抜いて下さい。加圧したまま長時間放置しますとタンクの早期劣化の原因となります。

薬剤の付属の説明書に従って下さい。

薬剤は適切な濃度でご使用下さい。濃度の高い薬剤は植物を傷め噴霧器故障の原因となります。※粉状・粒状の薬剤はそのまま使用できません。

散布の際は薬剤の付着や吸入を防ぐため、露出の少ない衣服(マスク・めがね・手袋等)を着用して下さい。

有機溶剤が多く含まれるトレフアノサイド・ゴーゴサン・スタム・DDVP等は使用できません。製品を变形させ、故障やタンク破損の原因となります。

園芸用のマシン油剤はお使いいただけます。工業油(ガソリン・灯油・潤滑油など)には使用できません。故障や破損の原因となります。石灰硫黄合剤は、ぬるま湯で溶かすと詰まりにくくなります。

## 故障かな?と思ったら

- ◎点検等で分解する場合は、必ずタンク内の圧力を先に抜いて下さい。
- ◎蓄圧式噴霧器は構造が簡単ですので、ほとんどの場合、お客様での修理が可能です。下記の「症状→原因→対策→処置」の手順でご確認下さい。処置後、症状が改善されない場合は修理をご依頼下さい。
- ◎修理をご依頼される際は、交換部品以外に、工賃・送料などが必要となりますのでご了承下さい。

症状	原因	対策	処置	
・噴霧しない ・霧の出が悪い	タンク内の圧力は上がる (安全弁レバーを引き上げると「シュー」と音がする。)	噴口のつまり	洗浄する	処置A
	タンク内の圧力が上がらない	ストレーナーのつまり	洗浄する	処置B
		圧縮不足	安全弁が作動するまで再加圧する	
		吐出ホースの折れ	折れを直す	
		ポンプの締め付け不足	ポンプを締め付ける	
・各接続部より水漏れ ・ノズル本体より水漏れ ・ノズルのレバーが重い	ポンプ部Oリングの油切れ・劣化	注油又は交換する	処置C	
	安全弁Oリングの油切れ・劣化	注油又は交換する	処置D	
	吐出弁の劣化・紛失	交換する	処置E	
	圧縮不足	安全弁が作動するまで再加圧する		
	ゆるみ・締め付け不足	締め付ける		
	Oリングの劣化	Oリング交換	処置F	
	油切れ	注油する	処置F	

Oリングには定期的に少量のグリスを注油して下さい。油が切れると動作不良や水漏れの原因となります。※注油は純正品のグリス(シリコングリス PA-186)をご使用下さい。Oリング類、シリンダパッキン、吐出弁は純正品のHS-B/C/Eパッキンフルセット(PA-176)をご使用下さい。

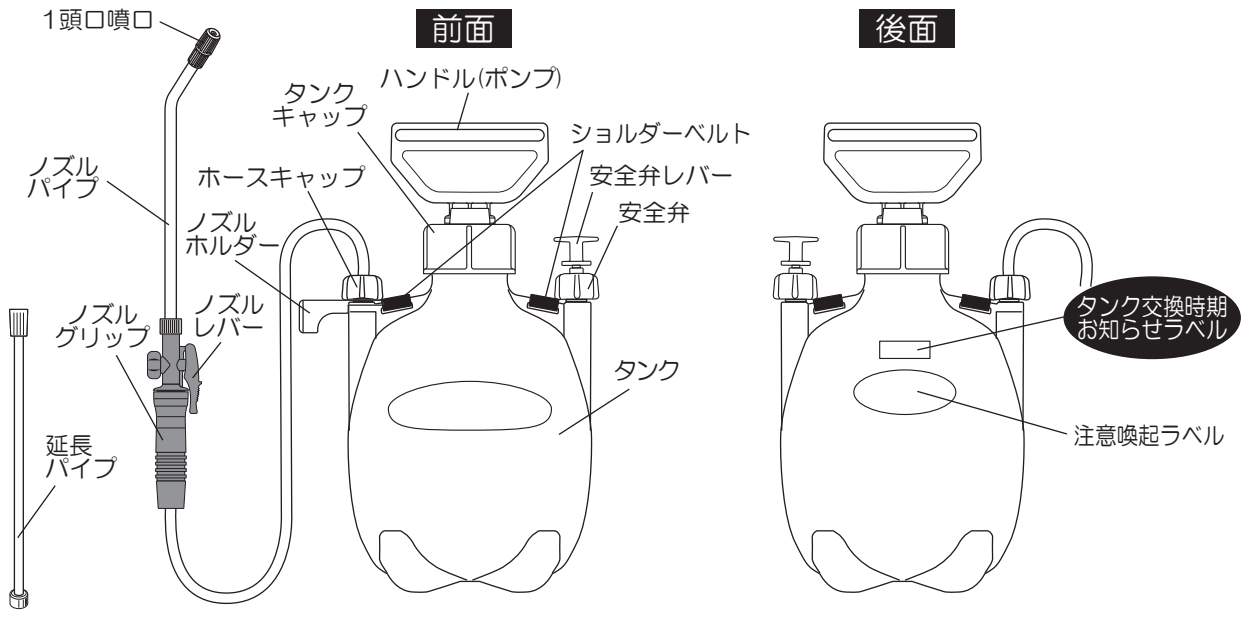
### 処置A 噴口の洗浄

つまようじ等で穴のつまりを取り除いて下さい。

### 処置B ストレーナーの洗浄

ホースキャップをはずし、ストレーナーの網目部分のつまりを取除いて下さい。

## 各部の名称



## 仕様・性能

機種名	タンク容量	ノズル形式・(全長)	ホース長さ	安全弁作動圧力	噴霧時間	噴霧面積	用途
HS-401E	4ℓ	1段1頭口(38cm)	1.5m	0.2MPa (2kgf/cm <sup>2</sup> )	約16分	14~18坪	殺虫剤・防除用
HS-401ET		1段1頭口(38cm) +延長パイプ(37cm) =延長パイプ使用時(75cm)					

## HSシリーズ用オプションパーツ(ノズル・パイプ)

型式	名称	ノズル長さ	JAN
PA-197	2段1頭口ノズルノミ	最長113.5cm~収納時63cm	4971770-401310
PA-170	2段2頭口ノズルノミ	最長113.5cm~収納時63cm	4971770-402171
PA-171	4段2頭口ノズルノミ	最長201cm~収納時63cm	4971770-402980
PA-106	泡状除草ノズルノミ	38cm	4971770-101876
PA-107	粒状除草ノズルノミ	38cm	4971770-101883
PA-168	延長パイプノミ	37cm	4971770-402447

※薬害を防ぐため、噴霧器本体は消毒と除草の兼用使用はしないで下さい。  
 ※噴霧時間は薬剤の種類により異なります。

## 工進 お問い合わせ相談窓口

製品についての取扱い方法・商品選定、購入後1年以内の製品で故障かな?と思ったら...

PC <http://www.koshin-ltd.co.jp> 画面上的ココをクリック

携帯 左のQRコードで購入前&購入後のQ&Aをご覧いただけます

フリーダイヤル **0120-075-540** キョウトのコーシン

平日: 9:00~12:00・13:00~17:00  
 土曜: 9:00~12:00  
 (年末年始・夏季休暇等・日祝日を除く)

●製品のパーツについては、お買い上げの販売店にご相談下さい。  
 ●製品の価格・納期は、代理店・販売店にお問い合わせ下さい。

株式会社 **工進** 本社・工場 〒617-8511 京都府長岡京市神足上八ノ坪12  
<http://www.koshin-ltd.co.jp>

### 処置C

①タンクを固定してハンドルをまわしタンクキャップを外します。

②ハンドルを引き上げ抜き取りします。

③タンクキャップを持ちシリンダをまわして外します。

④Oリングに注油または、交換して下さい。

⑤タンクキャップにシリンダをまわらなくなるまで締め込んでから、タンクに取り付けて下さい。

### 処置D 安全弁Oリングの注油・交換

①安全弁を回してはずします。

②安全弁各部をきれいに洗浄して下さい。

③安全弁のAの所にグリスを付けて下さい。

### 処置E 吐出弁の交換

吐出弁を引っ張る

ポンプ先端の吐出弁を手ではずして下さい。取り付けの際は隙間が無くなるまで手でしっかりと押さえて下さい。

### 処置F ノズル部Oリングの注油・交換

ノズル弁を注油

ノズル本体キャップ

Oリング P11

注油 交換 Oリング P5

注油 交換 Oリング S3